

研究内容のご説明

再生医療実現拠点ネットワークプログラム 疾患特異的 iPS 細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム

「iPS 細胞を用いた希少疾患の研究促進のための研究者マッチング」

患者さんからの iPS 細胞の作製と iPS 細胞を使用した創薬・疾患研究へのご協力をお願い

対象となる試料・情報の取得期間： 2008 年 6 月承認日から 2021 年 3 月 31 日の間に、R91・G259
研究計画書にご協力いただいた患者さんもしくは患者さんご家族や健康ボランティアの皆様

【研究課題名】 R91 : ヒト疾患特異的 iPS 細胞の作成とそれを用いた疾患解析に関する研究
G259 : ヒト疾患特異的 iPS 細胞を用いた遺伝子解析研究

研究期間	2021 年 5 月 18 日 ~ 2026 年 3 月 31 日まで
研究機関名	京都大学 iPS 細胞研究所
研究責任者氏名・職名	齋藤 潤 (教授)

研究の説明

1 患者さんの試料・情報の利用目的及び利用方法

この研究は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構が行う事業の一つです。まだ原因や治療法がよくわかっていない病気の患者さんの体細胞から必要な細胞を取り出し、そこから iPS 細胞を作製することを計画しています。そこで、以前にあなたが受けた手術や検査の際に余った組織（「余剰検体」といいます）から iPS 細胞を作製し、遺伝子解析などを行い、病気になる仕組みの解明のほか、新しい薬や治療法の開発を目指します。どうかご理解のほどよろしくお願い致します。

2 研究で使用される試料・情報の項目

〔試料〕手術時の余剰検体、凍結血球細胞、リンパ芽球など
〔情報〕感染症検査結果、性別、年代、血液型、疾患名など

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

- 【機関 1】 横浜市立大学 (研究責任者: 大学院医学研究科・教授・松本直通)
- 【機関 2】 東京女子医科大学 (研究責任者: 腎臓小児科・教授・服部元史)
- 【機関 3】 自治医科大学 (研究責任者: 小児科学・教授・小坂仁)
- 【機関 4】 理化学研究所 (研究責任者: バイオリソース研究センターチームリーダー 林洋平)

4 研究に関する資料の閲覧について

希望に応じて、他の研究対象者の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画の詳しい内容をお見せすることも可能です。

5 研究資金と利益相反関係について

この臨床研究は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) からの公的研究費で実施します。また、本研究は、特定の企業からの資金提供を受けておりません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されております。

6 提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法

もしも、この研究に、あなたの余剰検体を使用しないでほしいという場合は、下記へご連絡ください。

〔お電話の場合〕 075 - 366 - 7000

〔メールの場合〕 msaito@cira.kyoto-u.ac.jp

〔受付時間〕 平日 10:00 ~ 17:00

本研究に関する問合せ先

所属	京都大学 iPS 細胞研究所
担当者	齋藤 潤
電話	075 - 366 - 7000
Mail	msaito@cira.kyoto-u.ac.jp